

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

授業支援ソフト「ロイロノート」の導入事業

事業の経過・背景・課題

国のGIGAスクール構想に基づき、令和3年4月に児童生徒1人1台タブレットを配備。充実した授業展開を図るため、令和4年度は授業支援ソフト「ロイロノート」を試験的に導入し、タブレットを活用した授業を行った。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業支援ソフト「ロイロノート」の活用が有効であるため、令和5年度から本格導入することとした。

取組内容

交付実績額： 3,342 千円

授業支援ソフト「ロイロノート」を導入し、学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る

- ・児童生徒、教員全員のタブレットに「ロイロノート」を導入し、授業等で活用
- ・教職員研修「創造的な授業づくり講座」（亀岡市みらい教育リサーチセンターで年4回実施）で有効な活用方法を共有
- ・「活用型情報モラル教材GIGA ワークブック」ロイロ版等の教材を共有
- ・各小中学校、義務教育学校での活用状況を確認し、活用頻度が少ない学校に対して、ICT支援員を重点的に配置したり、指導主事による指導助言を行うなどの支援を実施

〔ロイロノート・スクールの主な機能〕

- ・オンラインで課題や宿題を提出・返却する
- ・複数人で同時に意見を共有・比較する
- ・1人1人の意見を集約し可視化する

〔活用型情報モラル教材GIGA ワークブック〕

亀岡市教育委員会が、一般財団法人LINEみらい財団と連携し作成した「情報モラル」を含む「情報活用能力」の育成を図るための教材



事業の成果・今後の展望等

- ・集めた情報を整理して発表するなど、児童生徒が主体的に活動する環境が充実した。
- ・クラス全員の考えを瞬時に共有することができるようになり、協働して学び合う環境が充実した。
- ・考えを可視化できるようになり、深い学びに繋がる環境が充実した。
- ・以上のことから、児童生徒が主体的に課題と向き合い、自らの考えを持ち、考えを伝え合うことで、学びの意欲を高め、深まりを求める「考え合う授業」の充実が図れた。
- ・今後も、発達段階や教科の特性に応じた活用について検討し学習活動を充実するとともに、活用が進んでいない学校に対して指導助言や支援を行う。

問い合わせ先

亀岡市教育委員会教育総務課（0771-25-5052）